

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【株式のお手続きに関するお知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

1	優待内容	株主の皆様からのご支援に対し、感謝の気持ちを込めまして、年1回、「おこめギフト券」を株主優待として贈呈いたします。
	優待の基準	株式保有数 100株以上=3枚
2	対象株主	毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主の方を対象といたします。
3	贈呈期間	毎年11月下旬に発送を予定しております。



IRメール配信サービスを実施しています！

社長からのメッセージを株主の皆様にお届けします。ご希望の方は当社の投資家情報ウェブサイト内の「IRメール配信サービス」よりご登録をお願いします。

<http://www.sra-hd.co.jp/ir/>

メール配信サービスをご希望の方は上記アドレスよりご登録ください

ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただきます。当社の厳重な管理の下で保管させていただきます。個人情報に関するお問合せは下記までご連絡いただけますようお願いいたします。

お問合せ 株式会社SRAホールディングス 管理本部 IR担当 Tel. 03-5275-4311

個人投資家向け会社説明会のご案内

日時：2010年7月10日（土）
14：00～14：55

会場：千代田区丸の内1-9-1
グラントウキョウノースタワー18F
大和コンファレンスホール
(東京駅八重洲北口徒歩1分)

ご参加には、事前の申し込みが必要です。
<https://www.daiwair.co.jp/>
大和インベスター・リレーションズ株式会社
お問合せ Tel. 03-5555-6709

2010年3月期 株主通信

2009年4月1日～2010年3月31日

株主の皆様へ

2010年3月期は、企業のIT投資抑制の継続等により厳しい事業環境が続いているなか、業績予想数値（2010年2月公表）とほぼ同水準となりましたが、前期比では、減収減益となりました。

2011年3月期は、次の3点に注力し、SRAグループ一丸となって取り組んでまいります。

- ① 安定的な受注体制の確立＝新たな案件を創出して確実に契約に結びつける
- ② 粗利益率の向上とコスト抑制＝生産効率の向上と販管費の継続抑制
- ③ 飛躍への布石としての海外ビジネス拡大等

なお、配当は、株主の皆様への利益還元も優先度が高いと判断し、1株当たり40円を維持する予定です。

今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月

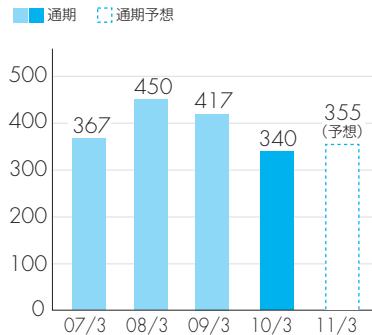
代表取締役社長 鹿島 亨



■連結財務ハイライト

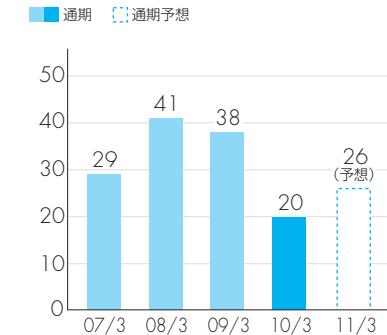
売上高

(単位:億円)



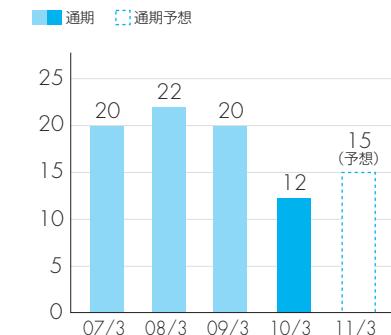
経常利益

(単位:億円)



当期純利益

(単位:億円)



(注) 2011年3月期予想は、2010年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

技術センター売却益9億円を計上しています

連結売上高経常利益率 (単位:%)



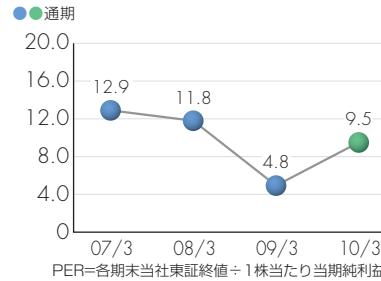
連結自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



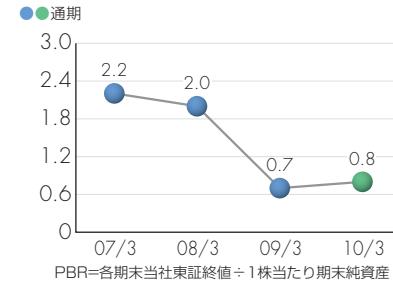
連結販管費比率 (単位:%)



PER (株価収益率) (単位:倍)



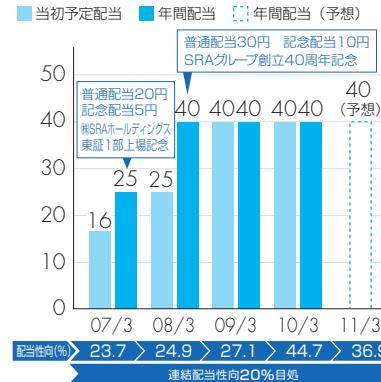
PBR (株価純資産倍率) (単位:倍)



EPS (1株当たり当期純利益) (単位:円)

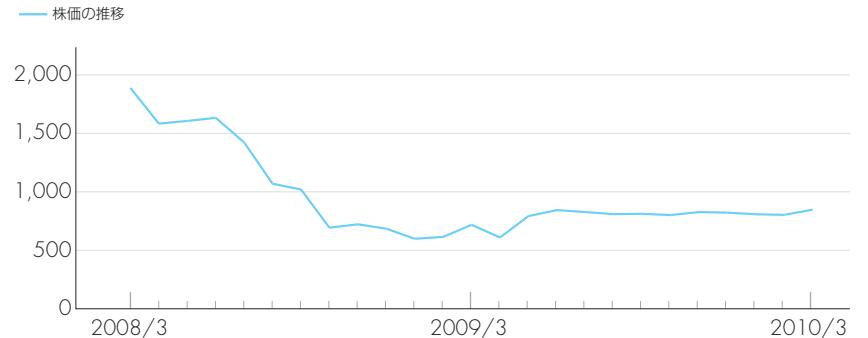


1株当たり配当金 (単位:円)



株価チャート

(単位:円)



SRAグループの事業内容

どこのメーカー/ユーザーにも属さない「独立系」だから・・・

お客様にとって最適な選択肢を提供できる！

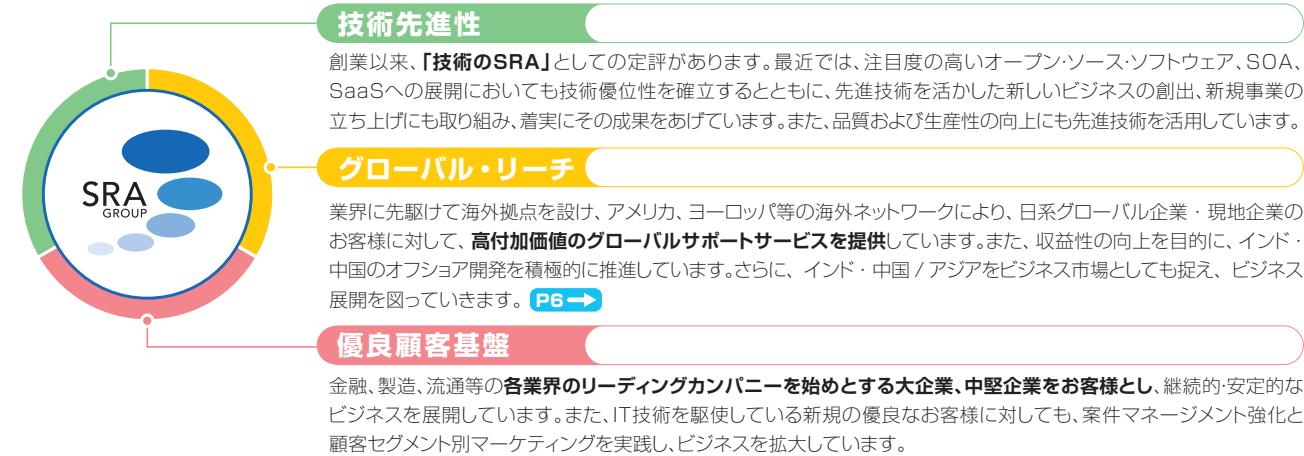
SRAグループのソフトウェア業界における位置づけ

「独立系」のメリットを活かし、ハードウェアでもソフトウェアでも、特定のユーザーやメーカーに偏ることなく、**中立な立場で真に最適な選択肢を提供**することができます。これは、お客様にとっての最大のメリットであり、私たちSRAグループの存在価値であると考えています。

SRAグループの3つの強み

SRAグループは3つの強みを活かして次のステージでの展開をめざします。

3つの強みを活かしてITに求められる「スピード」、「クオリティ」、「コスト」を満たすシステムを提供し、お客様の競争力強化、成長および収益の向上に貢献するよう努めています。



SRAグループの技術

皆様の身近なところにもSRAグループの様々な先端技術が活かされています。

動かしているのは、SRAグループの技術です。

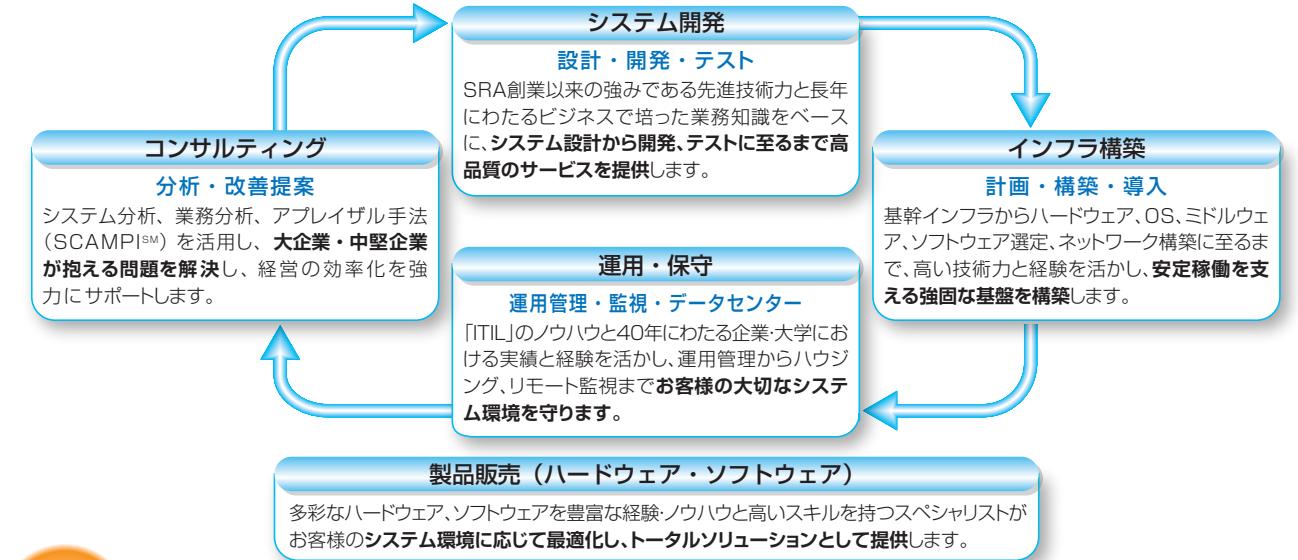
証券会社 株式をインターネットで売買する時代。高い信頼性が求められる証券会社のオンライン・トレードシステム。大手証券会社のシステムにも、SRAグループの技術力とノウハウが活かされています。

電機メーカー 高機能の新製品が次々と発売される家電業界。3Dテレビ、ブルーレイレコーダ、高機能ゲーム機器、業務用AV機器…。これらの中枢部分にもSRAグループの先進技術が活かされています。

銀行 正確性・安定性はもちろん、業務効率や高度なセキュリティも求められる銀行のシステム。メガバンクの根幹業務である融資業務システムにもSRAグループの高い技術力と金融分野の豊富な業務ノウハウが活かされています。

システム・ライフサイクル

SRAグループは、コンサルティングからシステム開発、インフラ構築、運用・保守に至るITシステムの**ライフサイクル全般**において、高水準のサービス・製品を提供しています。



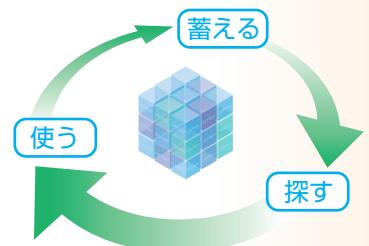
TOPICS

SRA: ソースコード[®]専用の高速検索システム「CodeDepot」を発表

～ソフトウェア開発・保守の生産性向上を実現～
ソフトウェア開発に際し、「CodeDepot」を利用することで、過去に作成したソースコードの検索が可能となり、開発・保守の効率が飛躍的に向上します。同様の製品はこれまでなく、多数のソフトウェアを保有する製造業や金融業への展開を計画しています。

※ソースコード：専用言語を用いて、コンピューターに人間の意図した指示を書き上げることがプログラミングで、書かれた指示をまとめたものがソースコード。

CodeDepot 開発サイクル



事業別セグメント

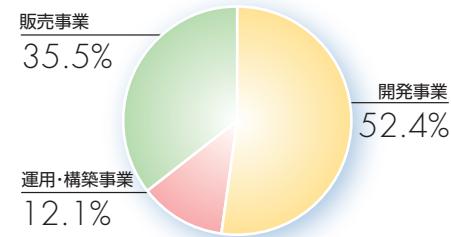
事業別セグメント情報

事業セグメント別売上高の推移 (単位: 百万円)

事業セグメント	項目	2010年3月期	2009年3月期
		当期	前期
開発事業	売上高	17,831	22,837
	営業利益	2,016	3,926
運用・構築事業	売上高	4,130	5,078
	営業利益	970	1,279
販売事業	売上高	12,091	13,861
	営業利益	803	1,110

(注) 営業利益は、セグメント間の内部取引を含んでおり、配賦不能な営業費用を含んでおりません。

売上高構成比 (2010年3月期)



開発事業

厳しい事業環境が続く、主要顧客である証券業および製造業向けの受注が大幅に減少。証券業の受注単価も想定以上に下落。電力・ガス、大学向け受注は増加したものの、大幅な減収減益となりました。

運用・構築事業

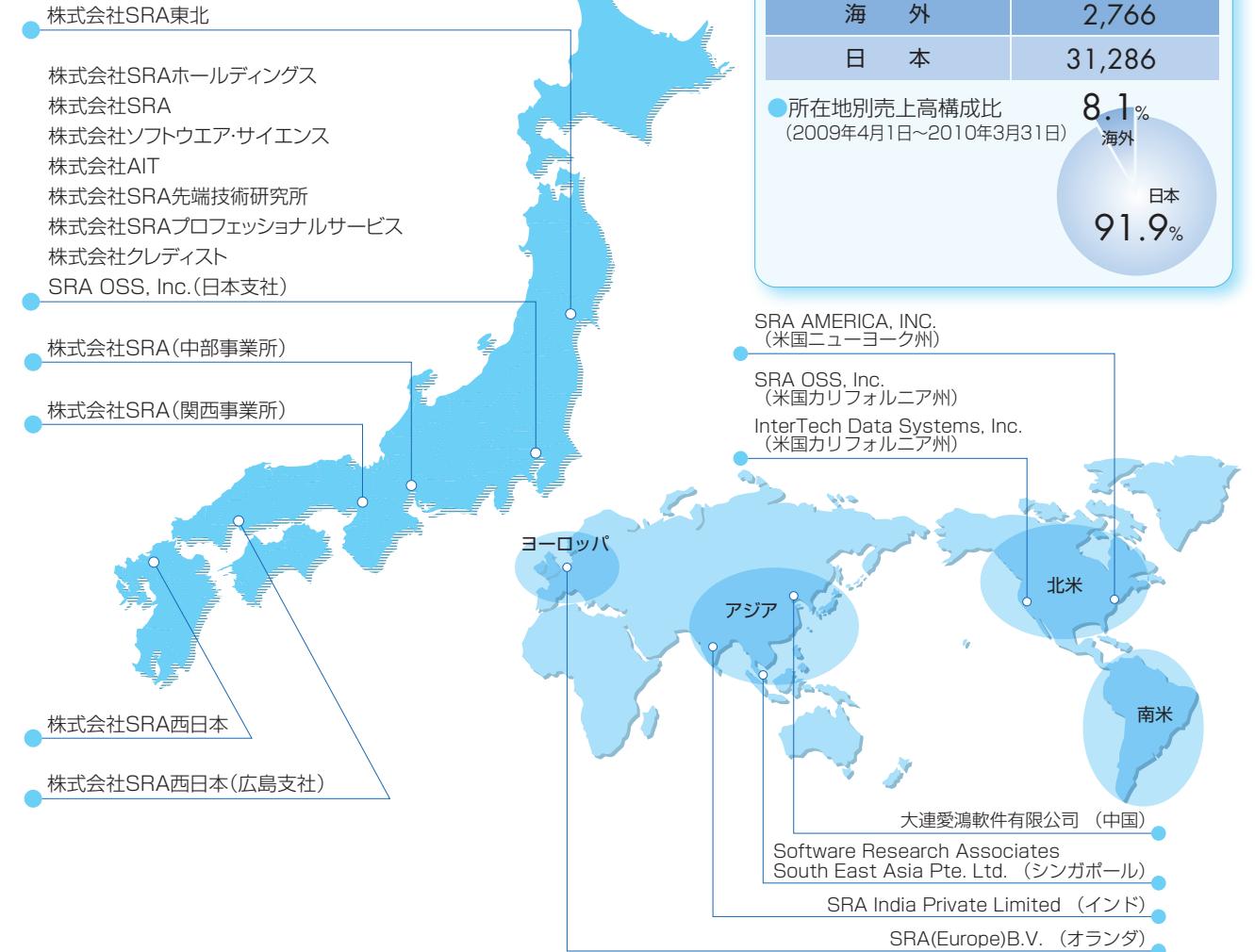
学校関連は微減であったものの、企業関連の受注が大きく落ち込んだため、減収減益となりました。

販売事業

機器販売を主要事業とする株式会社A I Tはサーバーを中心とする中規模の機器販売において好調に推移しましたが、金融機関向けの大型案件があった前期と比較すると、減収となりました。株式会社S R Aでは、パッケージ等の販売が減少しました。

グローバル・リーチ

SRAグループは国内・海外のネットワークを活用し
グループ・シナジーのさらなる強化を図ります。



連結財務諸表

●連結貸借対照表

	当期末 2010年3月31日現在	前期末 2009年3月31日現在
資産の部		
流動資産	19,337	21,599
現金及び預金	8,957	10,335
受取手形及び売掛金	6,275	7,613
有価証券	1,504	1,503
たな卸資産	1,525	1,130
繰延税金資産	467	461
その他	610	591
貸倒引当金	△ 4	△ 37
固定資産	7,867	4,920
有形固定資産	172	202
無形固定資産	701	429
投資その他の資産	6,993	4,287
投資有価証券	4,069	1,314
繰延税金資産	1,586	1,677
その他	1,479	1,413
貸倒引当金	△ 48	△ 10
投資損失引当金	△ 93	△ 107
資産合計	27,204	26,519

流動資産	受取手形及び売掛金は売上高減に伴い減少。たな卸資産は仕掛開発作業増に伴い増加。
固定資産	債券購入に伴い増加。(株)SJIの業務提携関係強化、Proxim Wireless Corporationとの業務・資本提携による投資有価証券取得に伴い増加。

(単位：百万円)

	当期末 2010年3月31日現在	前期末 2009年3月31日現在
負債の部		
流動負債	7,576	7,999
買掛金	2,818	2,702
短期借入金	2,184	2,368
その他	2,574	2,928
固定負債	4,498	4,356
退職給付引当金	3,632	3,620
その他	866	735
負債合計	12,075	12,355
純資産の部		
株主資本	14,792	14,107
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	10,202	9,518
自己株式	△ 894	△ 894
評価・換算差額等	281	△ 61
新株予約権	19	83
少数株主持分	36	34
純資産合計	15,129	14,164
負債・純資産合計	27,204	26,519

流動負債	短期借入金の返済に伴い減少。税金等調整前当期純利益の減少に伴い、未払法人税等が前期比2億21百万円減少。
純資産	保有有価証券の時価上昇に伴い、その他有価証券評価差額金が前期比3億54百万円増加。

●連結損益計算書

	当 期 2009年4月 1日から 2010年3月31日まで	前 期 2008年4月 1日から 2009年3月31日まで
売上高	34,053	41,777
売上原価	28,341	33,430
売上総利益	5,711	8,346
販売費及び一般管理費	3,713	4,525
営業利益	1,997	3,820
営業外収益	122	153
営業外費用	61	79
経常利益	2,059	3,894
特別利益	91	—
特別損失	35	110
税金等調整前当期純利益	2,115	3,784
法人税等	875	1,729
少数株主利益	1	13
当期純利益	1,238	2,041

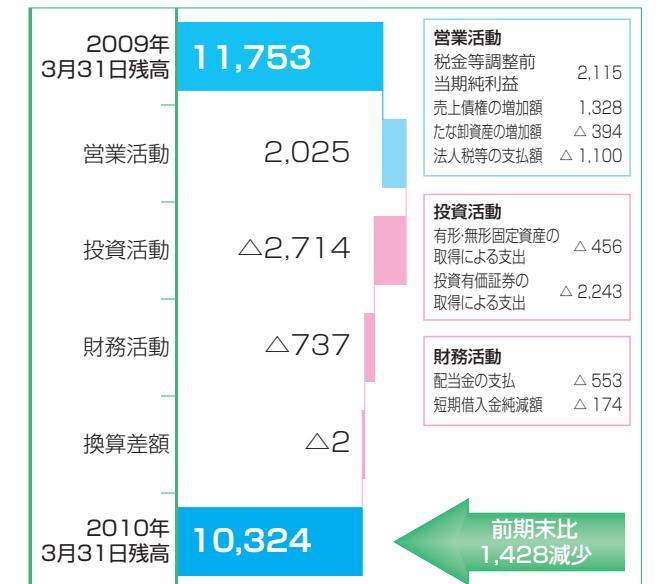
売上高	主要子会社である(株)AITは、流通・医療・通信業向け等の機器販売で好調を持続。中核事業会社の(株)SRAの開発事業においては、証券・製造業向けは大幅に減少したが、電力・ガス、学校向けは増加。
営業利益	売上高の減少、主要顧客である証券業の受注単価の想定以上の下落、工事損失引当金の継続計上により粗利益が減少。販管費は継続して抑制。

(単位：百万円)

●連結キャッシュ・フロー計算書

	当 期 2009年4月 1日から 2010年3月31日まで	前 期 2008年4月 1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,025	2,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,714	△ 852
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 737	△ 772
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 82
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,428	487
現金及び現金同等物の期首残高	11,753	11,265
現金及び現金同等物の期末残高	10,324	11,753

●連結キャッシュ・フロー（主な要因項目）（単位：百万円）



先進技術

レコメンダー技術

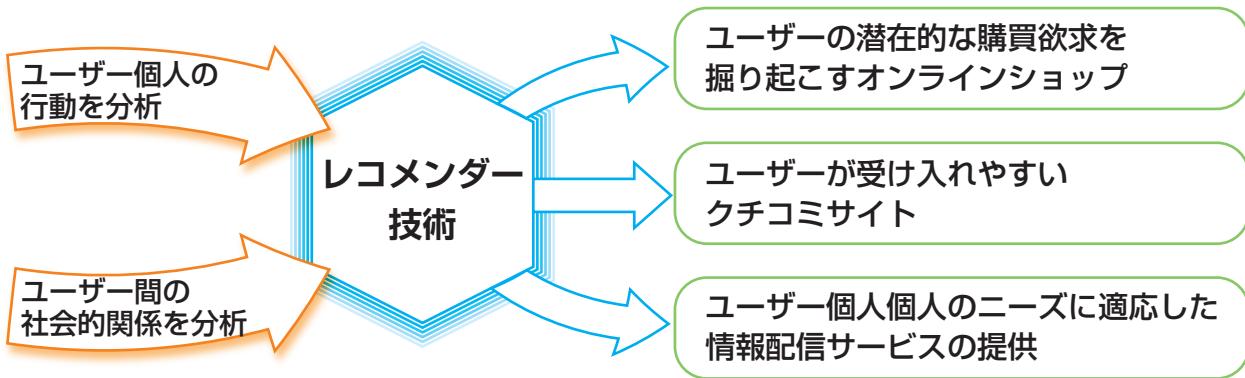
インターネットの通販サイトで商品を検索していると「この商品を買った人はこんな商品も買っています」という表示がされます。この予測に使われているのが、レコメンダー技術です。

SRA先端技術研究所の小田研究員は、SRAより米国コロラド大学に留学中の2003年に、IPA（現独立行政法人 情報処理推進機構）の未踏ソフトウェア創造事業に採択された「cSorter」を開発して以来、レコメンダーをテーマに研究開発に取り組んでいます。レコメンダーとは、ユーザのWebページの閲覧履歴や通販サイトの購入履歴などの膨大なデータを分析し、そのユーザと行動や属性が似ている他のユーザを見つけ出すことによって、ユーザが気に入るようなものを推薦する技術です。「この人の言うことなら信用できる」「この人とは気があう」といった情報を織り込むことでさらに推薦の精度を上げるような研究も進めています。

SRA先端技術研究所は2008年度 経済産業省「情報大航海プロジェクト」の一つとして実施された「ぶらっとPlat@自由が丘」に国立情報学研究所相原准教授らとともに参加し、レコメンダー技術を提供しました。このプロジェクトの成果をまとめた「説得性に基づく情報推薦手法の提案」という論文は、2009年9月に、船井ベストペーパー賞（社団法人 情報処理学会と社団法人 電子情報通信学会の合同の会議で優秀な論文を選考）を受賞しました。

さらに、2009年度 経済産業省「e空間実証事業」の一つとして実施された「pin@clip」にも参加し、日本における最先端レコメンダー技術の研究を続けています。

SRAでは、研究成果を活かし、お客様のウェブシステムにおいてレコメンダーを組み込んだ開発も行っています。



株式の状況・会社概要 (2010年3月31日現在)

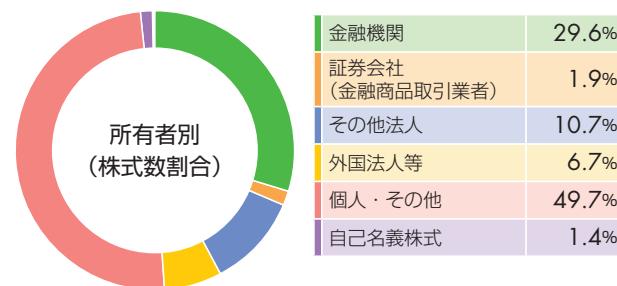
●株式の状況

発行可能株式総数	60,960,000株
発行済株式総数	15,240,000株
株主数	4,565名

●大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
丸森隆吾	2,189	14.3
株式会社SRA	1,190	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	947	6.2
SRAホールディングス社員持株会	588	3.8
第一生命保険相互会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6
NCT信託銀行株式会社(投信口)	500	3.2

●株式分布状況



●会社概要

商号	株式会社SRAホールディングス SRA Holdings, Inc.
本店所在地	東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日	1991年1月28日
資本金	10億円
主要な事業内容	システムの開発事業、運用・構築事業 および販売事業を営む事業会社の統括管理
従業員数	1,732名

●役員 (2010年6月25日現在)

代表取締役会長	丸森隆吾
代表取締役社長	鹿島亨
常務取締役	谷野寛
常務取締役	富田博
取締役	金崎俊明
常勤監査役	室伏仁
監査役	櫻井通晴
監査役	竹谷智行
会計監査人	太陽ASG有限責任監査法人

お知らせ

株主通信を最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。次回の第1四半期株主通信の発行は8月下旬～9月上旬を予定しております。

2010年度も株主の皆様には有益な情報を積極的に発信してまいりますので、今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

SRAグループ 一同